



恒例

鶴林寺十三夜 観月会

2014. 10/6

気になった台風18号も無事通り過ぎ開催

午後5時より講堂にて、吉田住職の挨拶の中で10月24日（金）教育長他が大勢来寺されるので、その際に3カ所案内の依頼がありました。

東播磨県民局主催「官兵衛の妻 光姫の里ウォーキングツアー」イベントの説明もありました。

各テーブルでの会食後は、各々観月会を楽しみ自由解散となっていました。

プログラムは、尺八、日本舞踊、加古川のご当地アイドル「りとる＊リリー」、ソングライターのTOZY（トージー）、嶋洋平のお月見ライブ。

台風一過、見上げると清らかに光る月。冷気に身が引き締まり、境内に響き渡る尺八の音色が老若男女の心にしみ透る。名月を楽しむ会、今回も満喫しました。

（上野あい子）



十五夜から約1カ月後に巡ってくる十三夜は十五夜に次いで美しい月だといわれ、昔から大切にされていました。毎年、鶴林寺の境内で、この月に酔うことが出来、参加した会員の皆さんは、それぞれ、心に響くなにかを感じる事が出来たのではないのでしょうか。

今日の日に合わせて境内に休憩所「普門庵」が、改装オープンしました。「てらの駅」と称してゆっくり境内を散策してカフェを楽しめて、おみやげも買えるようになっています。

また、「マニ車」が太子堂東の「一石一字塔」の裏側に設置されていました。直径30センチの黒石で陀羅尼（だらに）が白く彫られています。観音堂で振り切りたい思いを記入した用紙を塔の隣にあるムクゲの木に結びつけ、「ふりきる門」と名付けられた石門をくぐり、マニ車を2、3度回すと邪念が晴れるという。癒しを求める人たちが訪れるパワースポットの場所になっています。

（籠谷ツルエ）

